

令和7年度 予算紹介

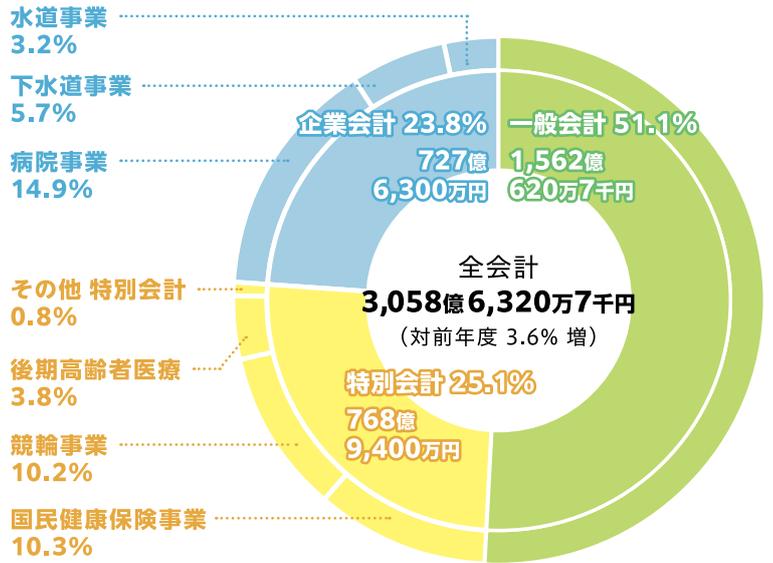
本市が目指すまちの姿「未来を担う人を育むまち・豊橋」の実現に向けて、第6次豊橋市総合計画の重点的に推進する取組みをはじめ、分野別計画を着実に推進します。

問合せ 財政課 (☎51・2115) HP 10519

詳しい資料はこちらから



「予算の見どころ」PDF



※令和7年度の予算規模は令和7年3月議会で議決された補正予算を含む

重点的に推進する主な取組み

選ばれ集う「ひとの流れづくり」

のんほいパークの魅力向上

動物の飼育環境と来園者の利便性向上を図るため、新しいゾウ舎をはじめとした園内環境の整備を進め、魅力あふれる「のんほいパーク」を目指します。



3億7,147万円

活きみなぎる「しごとづくり」

企業誘致を推進するための新たな産業拠点の形成に向けた調査

新たな産業拠点の形成に向け、企業の立地意向を調査し、国道23号名豊道路などの交通基盤の利便性が高い地区を中心に候補地の検討を行います。



3,030万円

持続可能で暮らしやすい「都市空間づくり」

豊橋市動物愛護センター(仮称)の開所

10月上旬に豊橋市動物愛護センター(仮称)を開所し、動物愛護への理解促進や収容動物の譲渡などに取り組み、人と動物が共生するまちを目指します。



5億9,508万円

笑顔あふれる「子育て・教育環境づくり」

こども未来館「ここにこ」のリニューアル

デジタルの活用など新たな遊びや体験を提供するため、まち空間をリニューアルするとともに、より安全で快適な施設となるよう改修を行います。



2億740万円

物価高騰対策

プレミアム付電子商品券 TOYOPayを発行 2億9,000万円

物価高騰の影響を受ける市民の消費を支えるほか、市内事業者の売上向上を促進するため、プレミアム付電子商品券を発行します。

保育所などへの物価高騰対策支援 3億2,879万円

物価高騰の影響を受けながらも安定的な教育・保育を提供している保育所などを支えるため、給食物資購入費や光熱費、燃料費の高騰に対する支援を行います。



分野別計画に基づく主な取り組み

活みなぎり、はつらつと働けるまち

気候変動を原因とした農産物被害軽減に向けた実証試験を支援

気候変動を原因とした病害虫の大量発生や、農産物の生育不良などに対する効果的な防除方法、栽培方法の確立をめざす実証試験を支援します。



豊かな人間性を備え、未来を創る人が育つまち

放課後児童クラブの拡充・支援を強化

児童クラブの利用ニーズに対応するため、夏休み限定クラブを増設するほか、民営児童クラブへの土地・建物にかかる賃借料を補助することによりクラブの持続的な運営を支援します。



みんなで支え合い、笑顔で健やかに暮らせるまち

不妊治療を受ける方への助成を拡充

体外受精や顕微授精などの不妊治療費の助成支援について、子どもを生み育てたいと希望する夫婦などを継続的に支援するため、2回目以降の治療にかかる自己負担額に対する助成を開始します。



命の安全、心の安心が確保されたまち

水難事故における救助体制の強化

海や河川などでの水難事故や近年多発する豪雨災害に対応するため、救命用の浮き輪を投下する機能や無線スピーカーを備えた災害用ドローンを配備します。



魅力にあふれ、いきいきとにぎわいあるまち

JR東海と連携し、コンテンツを活用した観光誘客事業を継続して実施

JR東海の「推し旅」と連携し、商店街や公共施設などを装飾するほか、市内を周遊するイベントなどを実施することで、観光客や市内消費の増加を目指します。



互いを尊重し合い、心豊かに暮らせるまち

市民協働推進補助金(つつじ・くすのき)を拡充

市民活動団体による公益的な活動の活性化を図るため、市民協働推進補助金を拡充し、活動の継続や新たな取り組みを支援します。



暮らしの基盤が整った、便利で快適なまち

快適な暮らしを支える道路の整備

豊橋新城スマートIC(仮称)や幹線市道の整備を進めるほか、湖西市と連携し、東部県境地域における渋滞解消に向けた調査・検討を行います。



自然と共生し、地球環境を大切にするまち

安全・安心に過ごせる公園の整備

誰もが楽しく一緒に遊べるインクルーシブ遊具を桜ヶ丘公園に整備するほか、公園の見通しを妨げる外周の中低木を部分的に撤去します。

